

主担当部：農水商工部

（現状と課題）

現在のところ国内経済は好況の中にあるものの、少子化に伴う人口減少社会の到来やさらなるグローバル化の進展など、先行きは不透明で予断を許さない状況にあります。

これまで三重県では、バレー構想等の成長産業分野に的を絞り、新産業や新事業が自律的に集積する地域の形成をめざしてきましたが、国際分業の進展に伴い、現在、企業は国内投資を高付加価値な生産施設や研究開発機能に絞り込んで事業の集約を進めています。三重県がこの企業ニーズに応え得るポテンシャルを備えるためには、国際競争力の高い川下（最終製品）産業を核に、それらと連鎖した高度な素材・部材産業等が集積する知識集約型の産業構造をより強じんなものへと進化させる必要があります。

（重点事業のねらい）

国際競争力の核となる先端産業や高度な研究開発機能を県内に誘致するとともに、これらを支える中小企業の技術力や経営基盤の強化、ベンチャー活動の活性化をはかり、多様な主体の連携による、産業構造のイノベーション（※注1）を促します。

また同時に、次代の県産業を担う新産業の育成に取り組むとともに、これらの産業を担う創造性豊かで多様な人材を育成し、県産業の永続的な発展の礎を築きます。

これらの取組により、付加価値の高い製品を生み出す知識集約型産業クラスターを形成し、三重県の産業構造をより強じんなものとするこことで、自律的産業集積を促進させ、世界中から人材と資本が集まる活力ある県としての地位を堅固なものとするこことをめざします。

（重点事業の取組目標）

目 標 項 目	先端産業分野の製造品出荷額
---------	---------------

〔目標項目の説明〕

- ・ 三重県が集積をはかろうとする先端産業分野（バレー構想関連分野（※注2）および新経済成長戦略に基づく2010年の新産業群の関連分野（※注3））の製造品出荷額（経済産業省「工業統計調査」）

(具体的な取組内容)

取組方向 1 : 三重の活力を高める企業誘致の促進に向けて

- (1) 企業誘致の促進をはかるため、先端産業や研究開発施設など、三重県産業の知識集約型産業構造への転換に資する企業立地および設備投資に対して補助します。
- (2) 対内直接投資による県内産業の多様化・高度化をはかるため、外資系企業と県内企業の技術交流を促進し、G N I (注 4) や県内企業等と連携した外資系企業の誘致活動を展開します。

取組方向 2 : 競争力のある産業立地基盤の整備促進に向けて

- (1) 戦略的な企業立地等を通じた地域経済の活性化を促すため、県内の産業用地の競争力強化をはかる際の基本方針となる計画を策定します。
- (2) 市町が進める産業用地の整備に対して支援を行います。

取組方向 3 : 先端産業の育成に向けて

- (1) 燃料電池の実証試験の実施や国のプロジェクトの誘致などを行ってきた実績に基づき、産学官連携により燃料電池、メカトロ (注 5) ・ロボット等の先端技術に関する新たな国プロジェクト等を誘致します。

さらに、水素エネルギー社会の形成に向けた水素関連技術の開発を促進するため、県内企業等が燃料電池関連技術開発を行う際の支援等を行います。

- (2) 次世代エネルギー普及のため、企業等と連携して「次世代エネルギーパーク整備プラン」の推進に取り組みます。

取組方向 4 : 産業クラスターの形成に向けて

- (1) 電気電子、自動車など県内製造業の競争力の源泉である高度部材産業がさらに発展していくための計画を策定し、クラスター (注 6) 形成のための方向性を示すとともに産学官の有機的な連携を推進します。

取組方向 5 : 四日市コンビナートの構造転換に向けたアクションプログラム推進に向けて

- (1) アクションプログラムに基づき、四日市市、四日市港管理組合、地元産業界と協働し、石油化学産業の強みを生かして、外資系化学企業をはじめとする素材・部材産業の研究開発機能の集積をはかります。
- (2) 素材産業と加工組立産業等が交流できる場を構築するとともに、環境配慮型社会システムの整備をはかるため、エコプロダクツ等の普及促進に向けた取組を行います。
- (3) 四日市コンビナート企業の高度統合に向けた取組を支援するとともに、地域社会と連携した取組を促進します。

取組方向6：ベンチャー的活動の活性化に向けて

- (1) 研究シーズやアイデアの実用化に向けた研究開発やビジネスモデル開発を全国から広く募集し、その実証取組に対して支援します。また、ベンチャー企業等のチャレンジ段階から生産・販売・流通など経営の段階にいたる支援サービスをその段階に応じて提供します。
- (2) 民間のベンチャー支援者をサポーターとして組織化することにより、ベンチャー企業に対して、一貫した支援を行うとともに、民間と連携した支援体制を構築します。
- (3) セミナーの開催や県のベンチャー施策、ベンチャー企業を積極的にPRすることにより、県内の起業の促進やベンチャー風土の醸成をはかります。

県が他の主体に期待する取組

地域住民が、地域で行われる産業活動について、関心と理解を深めます。
事業者が、CSR活動にも取り組み、自らの発展のみならず、地域の発展にも寄与します。
国が、商工団体や市町、県と連携し、三重県産業の発展を支援します。

- (注1)：イノベーション：経済成長の原動力となる技術革新のこと
- (注2)：バレー構想関連分野
 - ・クリスタルバレー構想（フラットパネルディスプレイ産業関連分野）
 - ・シリコンバレー構想（半導体産業関連分野）
 - ・メディカルバレー構想（医療・健康・福祉産業関連分野）
- (注3)：新経済成長戦略に基づく2010年の新産業群の関連分野
 - ・燃料電池、情報家電、ロボット、コンテンツ関連分野
- (注4)：GNI：Greater Nagoya Initiativeの略。名古屋を中心とした地域の産業経済をより世界によりオープンなものとして、世界から優れた企業・技術やヒト・情報を呼び込むために、圏内の県、市、産業界、大学、研究機関が一体となり、国際的産業交流を促進する活動
- (注5)：メカトロ：メカトロニクスのこと。メカニクス(機械工学)とエレクトロニクス(電子工学)とを結合した技術。機械の運転・制御などにコンピュータを導入し、高性能化・自動化・省力化をはかるもの
- (注6)：クラスター：クラスターは本来「ブドウの房」の意。産業クラスターは、特定分野の関連企業、大学等の関連機関等が地域で競争しつつ協力して相乗効果を生み出す状態

平成19年度 重点事業要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
農水商工部	ベンチャー企業創出促進 事業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	100,000
農水商工部	三重の活力を高める企業 誘致促進事業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	2,350,319
農水商工部	新しい産業立地基盤整備 促進事業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	100,000
農水商工部	競争力のある産業立地基 盤整備促進事業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	3,000
農水商工部	先端産業育成事業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	54,742
農水商工部	産業クラスター形成事業 費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	12,671
農水商工部	四日市コンビナートアク ションプログラム推進事 業費	231 (p. 34)	自律的産業集積の 推進	9,994
(事業 計)				2,630,726